

本時の展開（電気：コードのはたらきを調べよう）

1 目標 様々な実験を通して、身近な電源コードの違いについて理解し、生活に生かすことができる。

2 展開

学習の流れ	予想される生徒の活動	教師の指導と支援	留意点
課題の把握  (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の確認，発表をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の実験方法の確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表用紙を掲示しておく</li> <li>4種類のコードを用意</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         いろいろな実験を通して コードの違いを調べたい                     </div>			
課題解決への努力  課題解決  (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>班ごとにそれぞれ決めた実験を行う。</li> <li>実験を終え，班ごとに結果記入用紙に記入する。</li> <li>班ごとに発表をする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         予想される課題解決                          ・Cのコードはとけなかった                          ・Dのコードは水に弱いなど                     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>コードの性質と名称を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>班ごとに実験を始めることを促す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         班ごとをまわり支援する                          ・安全面について(工具の使い方，換気や火気について)の配慮など                     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>実験が終了したところから，班ごとに結果記入用紙に記入するように促す。</li> <li>班ごとの発表を分類し整理する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         具体的な指導・支援の方法                          ・他の生徒にも明確にわかるように言葉を補う。                     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の発表内容を生かし，コードの特徴や名称についてまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の授業をもとに必要な実験用具をそろえておく。</li> <li>黒板に一覧表を用意</li> </ul>
まとめ ・発展  (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの電気機器にどのようなコードが使われているか確認する。</li> <li>各自，プリントに今日の学習をまとめる。</li> <li>それぞれの電気機器にあったコードを使うことがわかる。</li> <li>次時の学習内容を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの電気機器にはどのようなコードが使われているかを提示する。</li> <li>今日の学習の内容について振り返りプリントにまとめるように促す。</li> <li>次時の学習内容を知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>OHPを使用</li> </ul>

3 評価 安全面に気をつけ意欲的に実験に取り組むことができたかは，机間観察から評価する。様々なコードの性質を理解することができ，生活に生かすことができるかはプリントで評価する。